

令和7年度 第1回豊田市藤岡地域会議 議事録

開催日時	令和7年4月24日（木）	開会	閉会
		19時00分	20時20分
会 場	藤岡交流館 多目的ホール		
出席者	委 員 16名出席		
	藤岡支所 山田支所長、中山副支所長、築瀬主査監、成瀬担当長、 濱本主査、内野主事		
	近藤市議		
次 第	1 「豊田市民の誓い」唱和 2 開 会 藤岡地域会議会長あいさつ 3 令和7年度藤岡支所の体制について 4 議 事 （1）藤岡地区まちづくりビジョン取組項目の見直しについて 5 報 告 （1）委員からの報告（各団体の活動など） 6 事務連絡 （1）地域会議委員の弔辞連絡、費用弁償、選挙運動について （2）ふじまつりのご案内 （3）集合写真の撮影		

■ 議事（要約）

4 議事

（1）藤岡地区まちづくりビジョン取組項目の見直しについて

これまで調査してきた地域内活動や社会情勢等を踏まえ、藤岡まちづくりビジョンに掲載する取組項目に見直しが必要な項目があるのかなどについて、各グループで検討した。

【グループの検討内容】

グループ	基本方針	取組項目
1	ひとりひとりが夢を持って活躍できる ふれあいのまち（教育）	（1）地域を担う人づくり （2）夢を持てる生きがいづくり
2	美しい里山に囲まれ、地域で支えあう 安心安全なまち（環境）	（1）自然環境の保全 （2）生活環境の充実
3	地域資源を活かした、持続可能な 活力あるまち（地域活性化）	（1）地域資源の活用 （2）過疎対策（定住対策）

【グループの担当委員】

グループ	委員名
1	吉田副会長、田中委員、武田委員、松田委員、米丸委員
2	浅山委員、岡崎委員、杉原委員、田口委員、山本委員
3	島田会長、尾崎委員、清野委員、中條委員、永井委員、山内委員

【主な意見】

グループ 1

- ・「（１）地域を担う人づくり」を「（１）地域を愛する人づくり」に変えたい。
- ・伝統文化の保存と継承については、民俗資料館も閉館した事実等もあるため、何か別の取組項目が挙げられるとよい。
- ・「幅広い人材発掘と活用」を「豊かな人材発掘と活用」に変えたい。
- ・「地域リーダー」を別の言い方に変えたい。特定の人に特別感を出すのは避け、住民一人一人が主役となるような言葉にしたい。
- ・「人材バンクの検討」では分かりづらいため、「お助け隊の結成」にすべき。
- ・夢を持つだけでなく、夢を実現できるまちづくりを目指していくべきだと考え、それが分かるような取組項目を掲載できるとよい。

グループ 2

- ・「美しい里山の再生」に取り組むためには、団体同士のつながりや連携が重要だと思う。山での不法投棄も問題になっているが、人流が増加すれば、人の目が届き、不法投棄が減少するのではないか。戸越峠は良い事例。
- ・自然環境の保全について、わくわく事業団体が活動してくれているが、今後も活動を継続していけるのかは不透明な状況であるため、後継者づくりが大切になってくる。
- ・有害鳥獣の駆除についてもわくわく事業団体等と同様で、猟友会の高齢化や減少という問題があり、今後を見据えた対策や取組が必要だと思う。

グループ 3

- ・石畳ふれあい広場について、更なる魅力向上に向けた取組を進めていくべき。
- ・「地域活性」という固い言葉ではなく、「まちづくり」という言葉に変えたい。
- ・「藤岡の自慢できるものづくり」について、既存のものは PR を含め、一層力を入れて取り組むべきだと思う。新しいものには積極的に藤色を入れることを検討してほしい。
- ・「地域情報の発信、共有」については、わくわくフレンズが設立されたため、その団体を中心に発信に力を入れる。また、「IT」という言葉は別の言葉に変えたい。

【今後の開催予定】

第 2 回地域会議（５月 2 9 日（木）午後 7 時から藤岡交流館 多目的ホール）